

# GW7つの卵

追加型投信／内外／資産複合

## 交付運用報告書

第16期(決算日2019年1月10日)

作成対象期間(2018年1月11日～2019年1月10日)

第16期末(2019年1月10日)	
基準価額	9,433円
純資産総額	54,091百万円
第16期	
騰落率	△ 12.1%
分配金(税込み)合計	30円

(注) 騰落率は分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。

(注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。

○交付運用報告書は、運用報告書に記載すべき事項のうち重要なものを記載した書面です。その他の内容については、運用報告書(全体版)に記載しております。

○当ファンドは、投資信託約款において運用報告書(全体版)に記載すべき事項を、電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記の手順にて閲覧・ダウンロードいただけます。

<運用報告書(全体版)の閲覧・ダウンロード方法>  
右記URLにアクセス ⇒ ファンド検索機能を利用して該当ファンドのページを表示 ⇒ 運用報告書タブを選択 ⇒ 該当する運用報告書をクリックしてPDFファイルを表示

○運用報告書(全体版)は、受益者の方からのご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

### 受益者のみなさまへ

平素は格別のご愛顧を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、「GW7つの卵」は、2019年1月10日に第16期の決算を行ないました。

当ファンドは、主に、世界各国の株式、債券に国際分散投資を行なうことで、中長期的な信託財産の成長をめざして運用を行なっております。

ここに、当作成対象期間の運用経過等についてご報告申し上げます。

今後とも一層のお引き立てを賜りますようお願い申し上げます。

## 日興アセットマネジメント株式会社

東京都港区赤坂九丁目7番1号  
www.nikkoam.com/

当運用報告書に関するお問い合わせ先

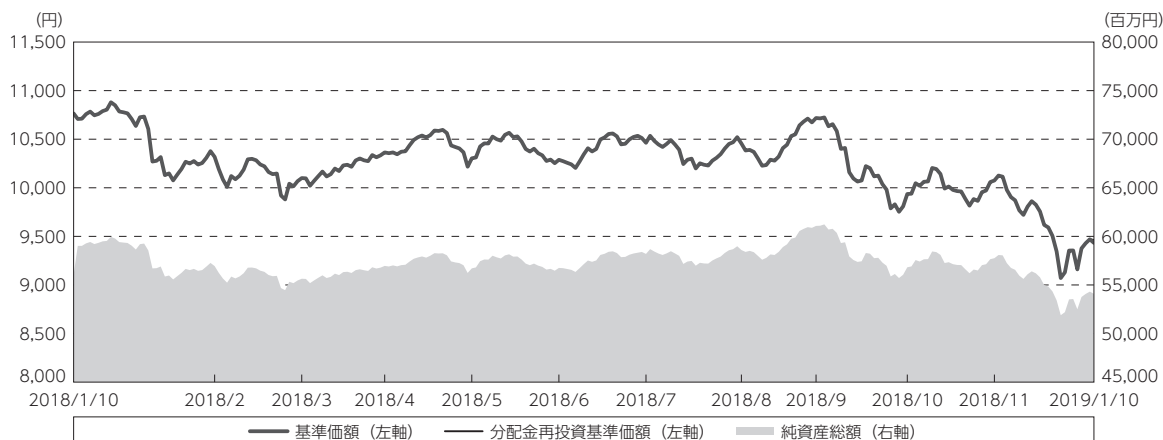
コールセンター 電話番号：0120-25-1404  
午前9時～午後5時 土、日、祝・休日は除きます。

●お取引状況等についてはご購入された販売会社にお問い合わせください。

## 運用経過

## 期中の基準価額等の推移

(2018年1月11日～2019年1月10日)



期 首：10,765円

期 末：9,433円 (既払分配金(税込み):30円)

騰落率：△12.1% (分配金再投資ベース)

- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金(税込み)を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。  
 (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。  
 (注) 分配金再投資基準価額は、期首(2018年1月10日)の値が基準価額と同一となるように指数化しております。  
 (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。  
 (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

## ○基準価額の主な変動要因

当ファンドは、世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行なっています。7つの資産の運用は、それぞれの分野に強みを持つ運用アドバイザーが各マザーファンドを通じて行なっています。資産配分および運用アドバイザーの決定は、日興グローバルラップの助言をもとに日興アセットマネジメントが行なっています。

基準価額の騰落率(分配金込み)を各マザーファンドの騰落率に要因分解すると以下の通りです。

日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	△5.45%
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	△1.89%
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	+0.24%
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	△1.36%
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	△2.55%
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	△0.64%
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	△0.44%
GW7つの卵	△12.09%

## 1万口当たりの費用明細

(2018年1月11日～2019年1月10日)

項 目	当 期		項 目 の 概 要
	金 額	比 率	
(a) 信 託 報 酬	199	1.944	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率
( 投 信 会 社 )	(127)	(1.242)	委託した資金の運用の対価
( 販 売 会 社 )	( 66)	(0.648)	運用報告書など各種書類の送付、口座内でのファンドの管理、購入後の情報提供などの対価
( 受 託 会 社 )	( 6)	(0.054)	運用財産の管理、投信会社からの指図の実行の対価
(b) 売 買 委 託 手 数 料	3	0.032	(b) 売買委託手数料＝期中の売買委託手数料÷期中の平均受益権口数 売買委託手数料は、有価証券等の売買の際、売買仲介人に支払う手数料
( 株 式 )	( 3)	(0.030)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
( 先 物 ・ オ プ シ ョ ン )	( 0)	(0.002)	
(c) 有 価 証 券 取 引 税	1	0.012	(c) 有価証券取引税＝期中の有価証券取引税÷期中の平均受益権口数 有価証券取引税は、有価証券の取引の都度発生する取引に関する税金
( 株 式 )	( 1)	(0.012)	
( 投 資 信 託 証 券 )	( 0)	(0.000)	
(d) そ の 他 費 用	3	0.030	(d) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数
( 保 管 費 用 )	( 2)	(0.018)	保管費用は、海外における保管銀行等に支払う有価証券等の保管及び資金の送金・資産の移転等に要する費用
( 監 査 費 用 )	( 0)	(0.004)	監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査に係る費用
( そ の 他 )	( 1)	(0.007)	その他は、信託事務の処理等に要するその他の諸費用
合 計	206	2.018	
期中の平均基準価額は、10,251円です。			

(注) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約により受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 売買委託手数料、有価証券取引税およびその他費用は、このファンドが組み入れている親投資信託が支払った金額のうち、当ファンドに対応するものを含みます。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額（円未満の端数を含む）を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 最近5年間の基準価額等の推移

(2014年1月10日～2019年1月10日)



- (注) 分配金再投資基準価額は、分配金（税込み）を分配時に再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注) 分配金を再投資するかどうかについてはお客様がご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。したがって、お客様の損益の状況を示すものではありません。
- (注) 分配金再投資基準価額は、2014年1月10日の値が基準価額と同一となるように指数化しております。

	2014年1月10日 決算日	2015年1月13日 決算日	2016年1月12日 決算日	2017年1月10日 決算日	2018年1月10日 決算日	2019年1月10日 決算日
基準価額 (円)	10,372	10,718	10,132	10,457	10,765	9,433
期間分配金合計(税込み) (円)	—	700	300	500	1,500	30
分配金再投資基準価額騰落率 (%)	—	10.1	△ 2.7	8.1	17.3	△ 12.1
純資産総額 (百万円)	107,192	85,521	68,917	64,401	56,056	54,091

- (注) 上記騰落率は、小数点以下第2位を四捨五入して表示しております。
- (注) 純資産総額の単位未満は切捨てて表示しております。
- (注) 騰落率は1年前の決算応当日との比較です。
- (注) 当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**投資環境**

(2018年1月11日～2019年1月10日)

**(株式市況)**

国内株式市場は、米国株式の急落をきっかけに投資家のリスク回避姿勢が強まったことで、2018年2月中旬にかけて大幅に下落した後、いったん買い戻しが入りましたが、米中貿易摩擦への警戒感から3月には一段安の展開となりました。4月以降は、為替市場における円安／アメリカドル高の動きが相場の下支え要因となったものの、米国の通商政策の動向に左右される形で一進一退での推移となりました。9月には米国株高や円安進行を背景に大幅に上昇する場面が見られましたが、10月に入ると、米国株式の急落などを背景に株価は大幅安に見舞われ、12月下旬以降にやや反発したものの、期間末にかけて軟調な展開となりました。

海外株式市場は、米国の税制改革への期待から期間の初めに上昇しましたが、2018年2月上旬には、米国や欧州における長期金利の上昇を嫌気して大幅に下落しました。その後、一進一退の動きが続きましたが、4月以降は、特に米国市場において堅調な景気を背景に株価が上昇基調を続けたことで、海外市場全般にしっかりした動きが継続しました。また9月には、トルコでの利上げを受け、混乱していた新興国市場が落ち着く方向に向かうとの期待が膨らんだことも株高の動きにつながりました。しかし10月以降は、米国における通商政策や金融政策が強く意識されるなか、イタリアの財政問題や英国のEU（欧州連合）離脱協議などを巡る欧州政治リスクが強まったことや、米国景気の先行き減速観測が浮上したことなどをを受けて株価は急落した後、12月下旬以降には上昇傾向に転じるなど、不安定な相場展開となりました。

**(債券市況)**

内外債券市場は、米国政権が提示する通商政策に対する警戒感が強まる場面では安全資産としての債券買いが進みましたが、逆に、警戒感が後退する場面では債券売りが進んだことで、期間全体を通じて一進一退の相場展開となりました。また、2018年7月に日銀が決定した金融政策変更は債券売り要因となった一方で、イタリアや英国、ドイツ、フランスなど、欧州各国の政局に対する先行き不透明感は債券買い要因となったことなども、方向感に乏しい相場展開につながる形となりました。こうした状況において11月以降は、米国金融当局による利上げペースが先行き鈍化するとの見方が強まったことや、今後の米国景気の減速観測が台頭したことなどを背景に、期間末にかけて堅調な動きが続き、内外債券市場は期間を通じては上昇する結果となりました。

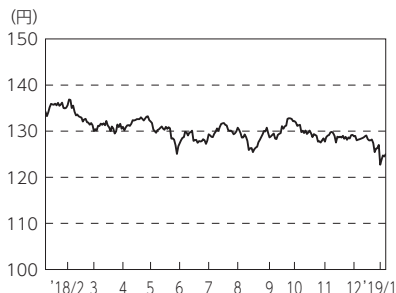
## (為替市況)

期間中における主要通貨（対円）は、下記の推移となりました。

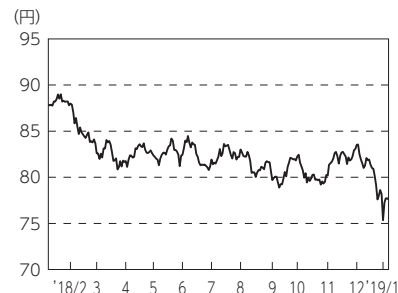
円／アメリカドルの推移



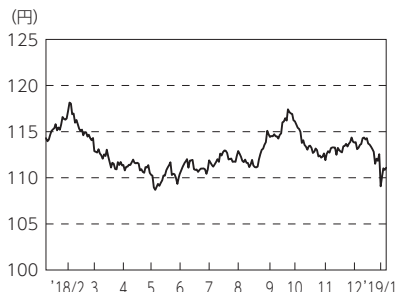
円／ユーロの推移



円／オーストラリアドルの推移



円／スイスフランの推移



円／香港ドルの推移



円／イギリスポンドの推移



## 当ファンドのポートフォリオ

(2018年1月11日～2019年1月10日)

## (当ファンド)

各マザーファンドへの投資配分は、「日興グローバルラップ株式会社」による投資助言などを受け、以下の比率をめどに運用を行ないました。

各投資対象資産の値動きや割安度、金融市場における投資家心理の変化などを総合的に考慮した結果、当期間は各マザーファンドへの配分を2018年4月、5月、11月の3度、変更しましたが、当期間は一貫して株式資産全体に対して積極的な投資姿勢を維持しました。4月から5月にかけての期間は、世界株式が上昇したことで、資産配分の効果がプラスとなりましたが、その他の期間については、2月、10月、12月に生じた株式市場の世界的な急落局面の影響を受け、マイナスの効果となりました。この結果、当期間全体を通じての資産配分の効果はマイナスとなりました。

	日本大型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本小型株式 グローバル・ラップ マザーファンド	日本債券 グローバル・ラップ マザーファンド	北米株式 グローバル・ラップ マザーファンド	欧州先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	アジア太平洋 先進国株式 グローバル・ラップ マザーファンド	海外債券 グローバル・ラップ マザーファンド
期首 ~ 2018年4月3日	25.2%	8.1%	16.8%	18.7%	16.8%	4.8%	9.6%
2018年4月4日 ~ 2018年5月6日	23.2%	8.5%	18.4%	19.8%	15.2%	4.4%	10.5%
2018年5月7日 ~ 2018年11月4日	25.2%	8.1%	16.8%	18.8%	16.7%	4.8%	9.6%
2018年11月5日 ~ 期末	22.7%	7.7%	18.4%	20.6%	15.3%	4.8%	10.5%

### (各マザーファンド)

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないました。

マザーファンド	運用アドバイザー	運用方針
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	JPモルガン・アセット・マネジメント株式会社	ファンダメンタルズ分析をベースに資産の均衡価値と市場価格との乖離を捉えることにより、超過収益の獲得を図ることをめざします。
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	スパークス・アセット・マネジメント株式会社	経済構造が変革する中で成長する新興企業や、既存の産業の中で自ら体質改善を図りながら成長を捉えようとする企業に選別投資することをめざします。
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	三井住友トラスト・アセット・マネジメント株式会社	マーケット動向、マクロ動向、クレジット動向の丹念な調査・分析により、独自に市場テーマを追求し、投資行動に効果的に反映することで超過収益の獲得をめざします。
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	ジャンナス・キャピタル・マネジメント・エルエルシー	個別企業リサーチに基づく徹底したボトムアップのファンダメンタル・アプローチによる、株式の成長性に着目したポートフォリオの構築をめざします。
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	MFS インターナショナル (U.K.) リミテッド	産業・企業の徹底したファンダメンタルズ分析を行ない、継続的に高い収益成長が期待できるクオリティの高い企業を発掘し、相対的に割安な株価水準で組入れを図ることをめざします。
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	シュローダー・インベストメント・マネージメント (シンガポール) リミテッド	投資対象市場や投資対象企業について実施される徹底した調査・分析によって、本来の投資価値に比べて株価水準が割安な銘柄を見極め、またマクロ分析に基づく個別配分を組合せ、リスクコントロールに配慮しながらポートフォリオを構築することをめざします。
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	ウエリントン・マネージメント・カンパニー・エルエルピー	「専門性を持ったリサーチ」、「分散されたアルファ源泉における多様な戦略」、「統合されたリスク管理」を通じて、超過収益の獲得をめざします。

**当ファンドのベンチマークとの差異**

(2018年1月11日～2019年1月10日)

当ファンドの運用方針に対し、適切に比較できる指数が存在しないため、ベンチマークおよび参考指数を設定しておりません。

**分配金**

(2018年1月11日～2019年1月10日)

分配金は、基準価額水準、市況動向などを勘案し、以下のとおりといたしました。なお、分配金に充当しなかった収益につきましては、信託財産内に留保し、運用の基本方針に基づいて運用いたします。

**○分配原資の内訳**

(単位:円、1万口当たり、税込み)

項 目	第16期
	2018年1月11日～ 2019年1月10日
当期分配金	30
(対基準価額比率)	0.317%
当期の収益	—
当期の収益以外	30
翌期繰越分配対象額	301

(注) 対基準価額比率は当期分配金(税込み)の期末基準価額(分配金込み)に対する比率であり、ファンドの収益率とは異なります。

(注) 当期の収益、当期の収益以外は小数点以下切捨てで算出しているため合計が当期分配金と一致しない場合があります。

**今後の運用方針****(当ファンド)**

引き続き、主として7本の親投資信託の受益証券を通じて分散投資を行ない、中長期的な信託財産の成長をめざします。また、各投資対象資産の値動きや割安度などに応じて組入比率の調整を行なうことによって、収益の拡大を図ります。

**(各マザーファンド)**

各マザーファンドにおいては、それぞれの運用アドバイザーが運用方針に沿って、信託財産の成長をめざして運用を行ないます。

将来の市場環境の変動などにより、当該運用方針が変更される場合があります。

今後ともご愛顧賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。



## お知らせ

2018年1月11日から2019年1月10日までの期間に実施いたしました約款変更は以下の通りです。

当ファンドについて、金融商品取引業等に関する内閣府令第130条第1項第8号の2に定める信用リスクを適正に管理する方法として、一般社団法人投資信託協会規則に従って委託会社が合理的な方法を定めるべく、2018年4月11日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(付表)

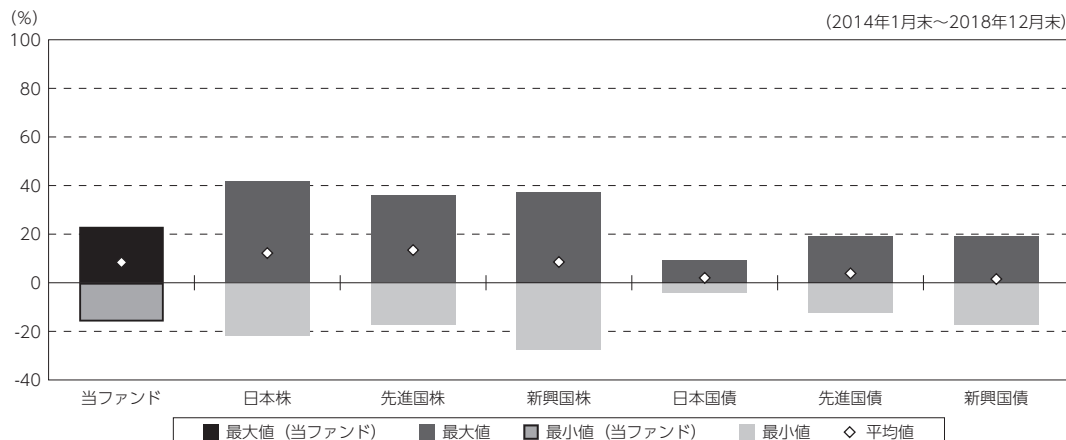
投資対象とする「日本債券グローバル・ラップマザーファンド」において、運用指図権限の委託に係る報酬の見直しを行なうため、その報酬体系につき、当該マザーファンドの純資産総額が100億円以下の部分は年10,000分の20、100億円超200億円以下の部分は年10,000分の17.5、200億円超300億円以下の部分は年10,000分の15、300億円超400億円以下の部分は年10,000分の12.5、400億円超の部分は年10,000分の10との記載に変更すべく、2018年4月11日付けにて信託約款に所要の変更を行ないました。(第44条)

## 当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／内外／資産複合	
信託期間	2003年2月28日から原則無期限です。	
運用方針	主として投資信託の受益証券に分散投資を行ない、信託財産の中長期的な成長をめざします。	
主要投資対象	GW7つの卵	投資信託の受益証券を主要投資対象とします。
	日本大型株式 グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本小型株式 グローバル・ラップマザーファンド	わが国の金融商品取引所上場株式を主要投資対象とします。
	日本債券 グローバル・ラップマザーファンド	わが国の公社債および短期金融資産を主要投資対象とします。
	北米株式 グローバル・ラップマザーファンド	米国およびカナダの金融商品取引所上場株式およびNASDAQ市場で取引されている株式を主要投資対象とします。
	欧州先進国株式 グローバル・ラップマザーファンド	欧州主要先進国の金融商品取引所上場株式および店頭登録株式を主要投資対象とします。
	アジア太平洋先進国株式 グローバル・ラップマザーファンド	アジア・環太平洋主要先進国の株式を主要投資対象とします。
	海外債券 グローバル・ラップマザーファンド	海外の公社債を主要投資対象とします。
運用方法	世界各国から7つの資産を選び、国際分散投資を行ないます。そして、効率的な資産配分を考えます。7つの資産の運用は、それぞれの分野に強みを持つ運用アドバイザーが各マザーファンドを通じて行ないます。資産配分および運用アドバイザーの決定は、日興グローバルラップの助言をもとに日興アセットマネジメントが行ないます。	
分配方針	毎決算時、原則として分配対象額のなかから、基準価額水準、市況動向などを勘案して分配を行なう方針です。ただし、分配対象額が少額の場合には分配を行なわないこともあります。	

## (参考情報)

## ○当ファンドと代表的な資産クラスとの騰落率の比較



(単位: %)

	当ファンド	日本株	先進国株	新興国株	日本国債	先進国債	新興国債
最大値	23.0	41.9	36.2	37.2	9.3	19.3	19.3
最小値	△ 16.0	△ 22.0	△ 17.5	△ 27.4	△ 4.0	△ 12.3	△ 17.4
平均値	8.4	12.2	13.4	8.5	2.0	3.8	1.5

(注) 全ての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注) 2014年1月から2018年12月の5年間の各月末における直近1年間の騰落率の最大値・最小値・平均値を表示したものです。

(注) 上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注) 当ファンドは分配金再投資基準価額の騰落率です。

## 《各資産クラスの指数》

日本株：東証株価指数 (TOPIX、配当込)

先進国株：MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース)

新興国株：MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース)

日本国債：NOMURA-BPI 国債

先進国債：FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債：JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース)

(注) 海外の指数は、為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

## 指数について

●東証株価指数 (TOPIX、配当込) は、東京証券取引所第一部に上場している国内普通株式全銘柄を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、東京証券取引所に帰属します。●MSCI-KOKUSAI インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、日本を除く世界の先進国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●MSCI エマージング・マーケット・インデックス (配当込、円ベース) は、MSCI Inc. が開発した、世界の新興国の株式を対象として算出した指数で、配当を考慮したものです。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、MSCI Inc. に帰属します。●NOMURA-BPI 国債は、野村証券株式会社が公表している指数で、その知的財産権は野村証券株式会社に帰属します。なお、野村証券株式会社は、対象インデックスの正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、対象インデックスを用いて行われる日興アセットマネジメント株式会社の事業活動・サービスに関し一切責任を負いません。●FTSE 世界国債インデックス (除く日本、円ベース) は、FTSE Fixed Income LLC により運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した指数です。なお、当指数に関する著作権等の知的財産権その他一切の権利は、FTSE Fixed Income LLC に帰属します。●JP モルガン GBI-EM グローバル・ディバーシファイド (円ヘッジなし、円ベース) は、J.P. Morgan Securities LLC が算出、公表している、新興国が発行する現地通貨建て国債を対象にした指数です。なお、当指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利は、J.P. Morgan Securities LLC に帰属します。

## 当ファンドのデータ

## 組入資産の内容

(2019年1月10日現在)

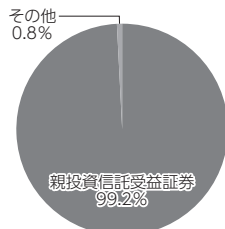
## ○組入上位ファンド

銘柄名	第16期末
	%
日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド	21.8
北米株式グローバル・ラップマザーファンド	19.8
日本債券グローバル・ラップマザーファンド	19.5
欧州先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	15.2
海外債券グローバル・ラップマザーファンド	10.8
日本小型株式グローバル・ラップマザーファンド	7.2
アジア太平洋先進国株式グローバル・ラップマザーファンド	4.9
組入銘柄数	7銘柄

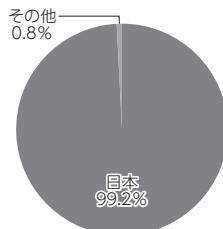
(注) 組入比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

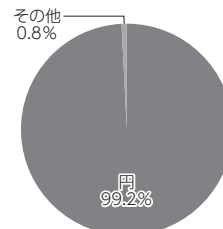
## ○資産別配分



## ○国別配分



## ○通貨別配分



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

## 純資産等

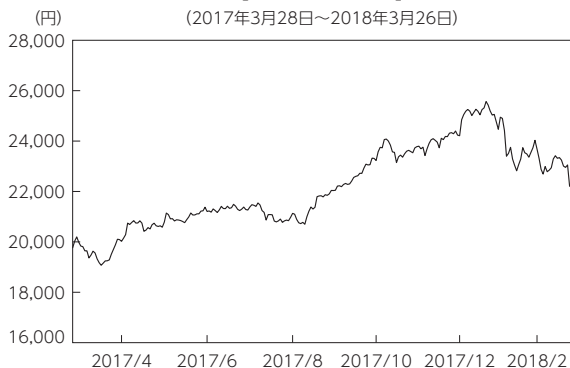
項目	第16期末
	2019年1月10日
純資産総額	54,091,218,011円
受益権総口数	57,342,266,488口
1万円当たり基準価額	9,433円

(注) 期中における追加設定元本額は9,824,291,828円、同解約元本額は4,554,320,029円です。

## 組入上位ファンドの概要

## 日本大型株式グローバル・ラップマザーファンド

## 【基準価額の推移】



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年3月28日～2018年3月26日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式)	13 (13)	0.057 (0.057)
合 計	13	0.057

期中の平均基準価額は、22,120円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年3月26日現在)

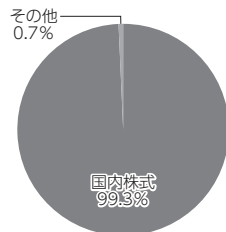
	銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1	三菱UFJフィナンシャル・グループ	銀行業	円	日本	3.7%
2	日本電信電話	情報・通信業	円	日本	3.6
3	本田技研工業	輸送用機器	円	日本	3.6
4	キーエンス	電気機器	円	日本	2.6
5	ソフトバンクグループ	情報・通信業	円	日本	2.5
6	トヨタ自動車	輸送用機器	円	日本	2.4
7	日本電産	電気機器	円	日本	2.4
8	日立製作所	電気機器	円	日本	2.4
9	パナソニック	電気機器	円	日本	2.3
10	ソニー	電気機器	円	日本	2.2
組入銘柄数			75銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

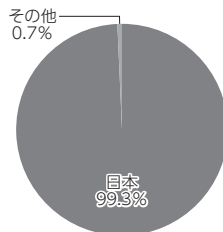
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

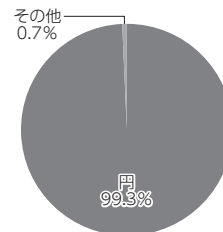
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

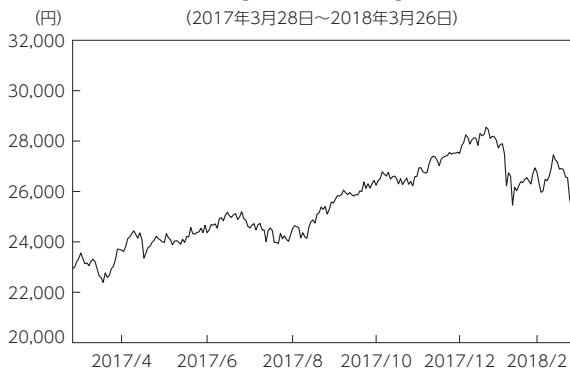
(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## 北米株式グローバル・ラップマザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2017年3月28日～2018年3月26日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年3月28日～2018年3月26日)

項目	当期	
	金額	比率
(a) 売買委託手数料 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	6 (6) (0)	0.024 (0.024) (0.000)
(b) 有価証券取引税 (株 式 券) (投 資 信 託 証 券)	0 (0) (0)	0.001 (0.001) (0.000)
(c) その他費用 (保 管 費 用) (そ の 他)	9 (9) (0)	0.036 (0.036) (0.000)
合 計	15	0.061

期中の平均基準価額は、25,427円です。

(注) 上記項目の概要につきましては運用報告書(全体版)をご参照ください。

(注) 各金額は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注) 各比率は1万口当たりのそれぞれの費用金額(円未満の端数を含む)を期中の平均基準価額で除して100を乗じたもので、項目ごとに小数第3位未満は四捨五入してあります。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年3月26日現在)

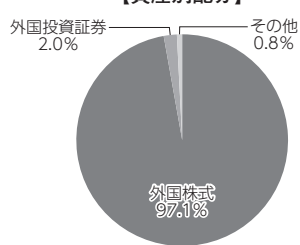
銘柄名	業種/種別等	通貨	国(地域)	比率
1 ALPHABET INC-CL C	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	3.9%
2 AMAZON.COM INC	小売	アメリカドル	アメリカ	2.8%
3 JPMORGAN CHASE & CO	銀行	アメリカドル	アメリカ	2.3%
4 ADOBE SYSTEMS INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.3%
5 MASTERCARD INC	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.1%
6 VISA INC-CLASS A SHARES	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	2.0%
7 COCA-COLA CO/THE	食品・飲料・タバコ	アメリカドル	アメリカ	1.9%
8 APPLE INC	テクノロジー・ハードウェアおよび機器	アメリカドル	アメリカ	1.7%
9 TD AMERITRADE HOLDING CORP	各種金融	アメリカドル	アメリカ	1.7%
10 MICROSOFT CORP	ソフトウェア・サービス	アメリカドル	アメリカ	1.6%
組入銘柄数	95銘柄			

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

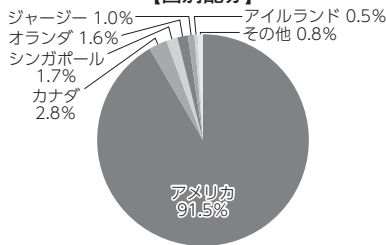
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

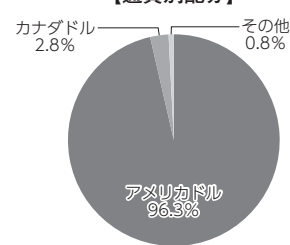
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。

## 日本債券グローバル・ラップマザーファンド

## 【基準価額の推移】

(2017年3月28日～2018年3月26日)



## 【1万口当たりの費用明細】

(2017年3月28日～2018年3月26日)

該当事項はございません。

## 【組入上位10銘柄】

(2018年3月26日現在)

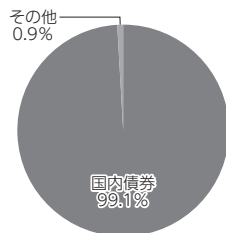
	銘柄名	業種 / 種別等	通貨	国(地域)	比率
					%
1	第386回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	6.1
2	第334回利付国債(10年)	国債証券	円	日本	5.4
3	第163回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	3.9
4	第56回利付国債(30年)	国債証券	円	日本	3.8
5	第385回利付国債(2年)	国債証券	円	日本	3.7
6	第121回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.8
7	第157回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.7
8	第158回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.3
9	第127回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	2.3
10	第153回利付国債(20年)	国債証券	円	日本	1.9
	組入銘柄数		121銘柄		

(注) 比率は、純資産総額に対する割合です。

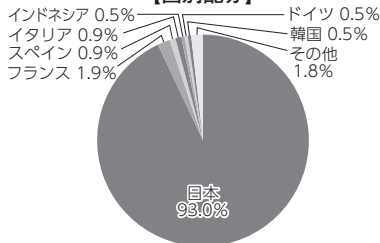
(注) 組入銘柄に関する詳細な情報等につきましては、運用報告書(全体版)に記載しております。

(注) 国(地域)につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

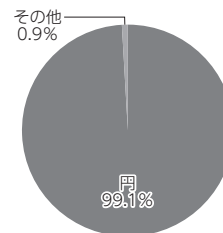
## 【資産別配分】



## 【国別配分】



## 【通貨別配分】



(注) 比率は当ファンドの純資産総額に対する割合です。

(注) 国別配分につきましては発行国もしくは投資国を表示しております。

(注) その他にはコール・ローン等を含む場合があります。

※当マザーファンドの計算期間における運用経過の説明は運用報告書(全体版)をご参照ください。